

反日背景に社会不満

拓殖大学長 渡辺利夫氏が講演



奈良「正論」懇話会の第28回講演が13日、奈良市内のホテルで開かれ、拓殖大学長の渡辺利夫氏が「最近の東アジア情勢」をテーマに講演した。中韓両国における反日運動について、韓国では血族共同体の意識の高まりから、中国では社会的不満層の増大から強まっている」と指摘した。

渡辺氏は、日韓関係について「朝鮮半島が安定しなければ日本の平和と発展はない。いかに韓国を親日的安定勢力にするかが課題だ」と強調。日中関係については「反日運動が草の根に拡大普及した背景には、社会的不満がある」と分析。「過熱する経済や少子高齢化によるセーフティネット（安全網）の破綻などのリスクを抱え、反日運動が進む恐れがある」と警鐘を鳴らした。

平成19年(2007)日刊23191号

6/14[木]



産業経済新聞(サンケイ) THE SANKEI SHIMBUN

発行所 産経新聞大阪本社 2007 年556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57 大阪(06)6633-1221(大代表)



講演後の懇親会で参加者と語り合う渡辺氏(中央)＝奈良市内



奈良「正論」懇話会

鋭い考察参加者聞き入る

アジア研究の第一人者 渡辺・拓殖大学長講演

奈良市内のホテルで13日、開かれた第28回奈良「正論」懇話会。アジア諸国の経済発展などの分野で定評のあるアジア研究の第一人者、渡辺利夫・拓殖大学学長が「最近の東アジア情勢」日韓、日中関係を中心として」と題して講演。中国や韓国で表れをみせない「反日感情」の問題などに次々と鋭い分析が加えられ、参加者は熱心に聞き入った。

講演に引き続き行われた懇親会。宇野正子さん(58)は「今日の話を聞き、中が、果たしてどうなるのか」と話した。三郷町夕陽ヶ丘の主婦、宇野正子さん(58)は「今日のお話を聞き、中が、果たしてどうなるのか」と話した。三郷町夕陽ヶ丘の主婦、宇野正子さん(58)は「今日のお話を聞き、中が、果たしてどうなるのか」と話した。

「反日感情の表出を単なる現象としてみていたが、政府側の意図も関与した複雑な背景があることを独自に解説していただき、勉強になった」と話した。また、奈良市六条西の税理士、鈴木祥道さん(79)は「いまの日韓関係の現状や中国の反日政策についての真相が分かった。日韓関係や日中関係の実態を、さらに詳しく知りたくなった」と話した。奈良市中町の学園前ガ

常軌には昔のことは忘れていくので、日本に対する負のイメージも徐々に薄まっていくと考えがちだが、現実には逆で、時間がたつほど強まっている。韓国や中国には、「反日」を構造化しない生き方がある。何か特殊な事情があるのではないか。

反日感情が消えることを我々は期待しない方がいいというのが、最初に申し上げたい私の結論だ。まず日韓関係でみると、韓国ではアイデンティティ

「血族共同体」に求める傾向が強い。北朝鮮が核実験を強行したこの状況においても、南北間の融和的な傾向はますます深まっている。これは、大陸側では中国やロシア、海側では日本などの勢力を取り囲まれてきたという地政学的宿命かもしれない。血族に対する自負は強く、それが家族や国家にまでつながっている。それを外部の勢力が犯そうとすると、外部勢力に対

する反感がナショナリズムとして高まる。それはますます燃え上がっており、「反日」という背骨がないと、この国はすくなく立ってられない。国などではないかとさえ思える。一方、日中関係でみると、私は中国を1985年に初めて訪れた。現地でも人もたくさんで、学生と交流を深めて、中国に対しては心温まる感情を抱いていた。

北京に滞在した際、中国に對する感情が大きく一変した。この時期に反日運動が非常に激しく盛り上がり、報道も扇動する。中国政権を導かれた。中国では愛国主義教育が唱えられたが、道もされた。中国では愛国主義教育が唱えられたが、道もされた。中国では愛国主義教育が唱えられたが、道もされた。

中国の戸籍制度は身分制に基づき、よほど特別な事情がない限り身分は変更できない。そのため都市部に出稼ぎにきた農民は、建設労働などに使われても社会保障がなく、子供も学校教育を受けられない。こうした不満層に反日感情が深く根付いている。温家宝首相が来日した真に問われるテーマだ。私の結論では、農村部から都市部にきた出稼ぎ者の不満が、もはや臨界点に達していることが挙げられる。それを誤解してしつぱ返しを食うのは日本だ。それを与党の政治家が笑顔で拍手しているという姿は、どうみても異常だ。ガス田開発や国連常任理事国の問題に際しても、何ひとつ事情は変化していない。政治的な要素以外でも、加熱する経済のリスクや急激な少子高齢化などの問題を抱えている。こうした諸要素が解決されない限り、反日感情が湧くことはない。

講演要旨